

# 2020

# レース結果報告書

## 全日本選手権 第5戦 鈴鹿大会(最終戦)



# DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング

# 全日本選手権・レース結果

## Race

最終戦の鈴鹿大会。ポイント取得者は藤田、谷本、中澤のフル参戦メンバーが参戦資格を獲得し最終戦のST1000クラスに出場しました。タイトルは逃したもののランキング3位で臨む藤田は得意の鈴鹿で一矢報いる覚悟で最終戦に臨みました。また成長著しい谷本も鈴鹿は最も得意なコースで、一年の成長を確認するうえでも重要な一戦となりました。コース的には前戦の茂木よりはマシンのパワーによるハンデが少ないコースレイアウトの為、ライダーの力が試されるコースです。そのレース結果をご報告いたします。

タイトル：全日本選手権 第5戦 鈴鹿サーキット

開催日：2020年10月31～11月1日

観客動員：21500人（土日合計）

リザルト：#33	藤田拓哉	予選10位	決勝10位	
	#26	谷本音虹郎	予選14位	決勝13位
	#98	中澤孝之	予選32位	決勝27位



# レース報告・藤田拓哉 #33

## Race

### 公式予選 (10/31)

今回の鈴鹿では、事前テストがなく、木曜日からの走行になりました。木曜日のテスト走行では、序盤から良いタイムアップでまずまずのテストで1日目を終了。二日目には、更なるタイムアップを目指して、様々なセットアップを試し予選に向けて順調に進んで行きました。予選では最初からタイムアタックをしましたが思った以上にタイムが伸びず、マシンセットを変更して再度アタックをしました。しかし10秒6と見た程のタイム更新にはならず予選を終えました。

### 決勝 (11/1)

決勝は久々に良いスタートダッシュを決める事が出来ました。そこからペースアップしたものの身体的トラブルも含めてじわじわ離されていき、攻めきれず、転倒寸前になる事が沢山有り、我慢我慢のレースで最終戦を10位でチェッカーを受けました。

マシンのセットアップや自分の身体的トラブルで思うようにいかず、悔しい思いでシーズンを終える形となり悔しくてたまりません。来年走れるかは、まだ分かりませんが、このままでは終われないと思っています。

悔しい思いを心のガソリンに換えてもっと高い所にいけるように全力でやって行こうと思います。

ファンの皆様、ご支援頂きました各企業様、そしてスタッフの皆様有難う御座いました。



# レース報告・谷本音虹郎 #26

## Race

### 公式予選 (10/31)

レースウイークの1日目に鈴鹿での事前テストのベストタイムを大きく更新することができました。2日目はタイヤを新品に変えて走行し、ベテランの山口選手と一緒に走ることができベストタイムを更に更新することができ目標にしていた11秒台を出すことができました。予選は単独でクリアラップを取って走りたかったのですが、少し時間をずらしてコースインしましたがすぐに前に詰まってしまうアタックできませんでした。一度ピットインしたのですが上手くポジション取りすることが出来ずタイムアップに繋げることができませんでした。

### 決勝 (11/1)

スタートでは初めてローンチコントロールを使用したのですが失敗してしまい大きく順位を落としてしまいました。1周目になんとか順位を戻すことが出来て、藤田選手が見える位置だったのでプッシュして喰らいつきましたが徐々に離されてしまい単独走行になってしまいました。レース終盤には寺本選手とのドッグファイトになり抑え込む事が出来ずにポジションを下げてしまいました。決勝でスタートを失敗してしまったのは悔しいのですが、レース中に自己ベストを更新する事が出来、自分の今年の集大成としてベストは尽くせたレースができたと思います。来年はもっと上位で走れるに努力してきます。よろしくお願ひします。



# レース報告・中澤孝之 #98

## Race

### 公式予選 (10/31)

今年の締めくくりとして悔いのないレースを目指して木曜日から走行を始めましたが、もてぎから続く悪い流れが未だ断ち切れず、ターゲットとしたタイムはおろか、昨年参戦した鈴鹿のレースタイムすら更新できないまま、予選を迎えることになってしまいます。

予選でも調子は戻らず、最後尾の32番グリッドに沈んでしまいました。完全にメンタルの問題です。バイクを完璧に仕上げてくれたメカやクルーに合わせる顔もなく、悔しいやら、情けないやら、本当に凹んでしまいました。。。

### 決勝 (11/1)

決勝は、最後尾からのスタートは良くも悪くもなく、ほぼ順当に1コーナーになだれこみます。数台パスして予選タイムでは2秒早い集団に着いていきますが、やはりベースタイムが足りずに少しずつ離されてしまいます。しかし、この段階で既に予選より早いタイムをマーク。エンジンかかるの遅すぎました。中盤に入り前方集団から遅れてきた1台が視界に入り、ウィーク中でベストのタイムをマークしながらなんとかパスして、27位でチェッカーを受けました。ポイント獲得には至りませんでした。少し調子を取り戻して完走を果たすことができました。

最終戦を無事に終えることができたのも、Anija様をはじめとするスポンサーの皆様のご支援、チーム、知人、友人、多くの方々のご協力のおかげです。改めて感謝の意を表します。



# 監督コメント

## Ofisyaru Comment

最終戦を無事に終えることができました。

藤田は木曜日の走行で4番手と好調な走り出しを見せ、今回は上位陣と勝負ができると思っていましたが、マシンセットアップの進まない状況と本人の身体的問題も発生し思うような力を発揮できず決勝は9位と不本意な結果となってしまいました。しかし五体満足な状況で走っていたライダーは少なく、そのような中でも結果を残しているライバルたちに対し力不足を痛感させられました。マシンのセットアップで藤田の走りを助けることができずチームとしても悔しい最終戦です。

谷本は木曜日から走る毎にタイムを上げ自己ベストを更新。決勝でもスタートこそ大きく出遅れましたがそこから挽回しレース終盤には藤田の真後ろにつけるほどの走りを見せてくれました。ライバルたちを引き離し、タイム、レース内容ともに大きな収穫を得た最終戦でした。

ベテランの中澤もやはり決勝で見せる集中力は素晴らしいもので、自己ベストに迫るタイムでポジションを回復し27番手で完走となりました。

悔しさも残る最終戦でしたが3名のライダーが今年のシーズンを走り切り、怪我無く終えることが出来た事にほっとしております。そしてコロナ過による慌ただしいシーズンとなった中も、暖かいご支援、ご声援を戴きましたファンの皆様、スポンサーの皆様、そしてスタッフの皆に感謝しております。

一年間ありがとうございました。

ドッグファイトレーシング  
代表 室井秀明

# スポンサー

Sponsor

Sponsor



竹中興運

Nakano Co., Ltd.



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。次戦も頑張ります！



# ギャラリー

## Gallery

